

新潟市社会福祉協議会会員会費

あなたの会費が、地域の活動を動かしています

北区では、みなさまからの会員会費を、子どもから高齢者まで、誰もが安心して過ごせる地域づくりに活用しています。

たとえば、**交流の場づくり、見守り活動、居場所づくり、地域イベントの開催支援**など、身近な地域の取り組みを支える大切な財源になっています。

「誰かのために」と寄せていただいたお気持ちは、**めぐりめぐって“自分の住むまち”を良くする力**になっています。

今年度も、地域のつながりを育てる活動に大切にに使わせていただきます。
趣旨をご理解のうえ、引き続きご協力をお願いいたします。

会費の目安

一般会費（1世帯）：500 円

自治会・町内会を通じてご協力をお願いしています。

賛助会費

・団体：1口2,000 円

・企業：1口5,000 円

・福祉施設・福祉団体：2,000 円

地域ふれあい
助成事業

みなさまの会費・募金が地域のつながりを支えています



いちごクラブ 早通児童センター

社会福祉協議会会員会費と赤い羽根共同募金の配分金を財源として実施している「地域ふれあい事業」。この助成金は、自治会・町内会や子育て支援団体などの活動に活用されています。

助成をきっかけに、「参加者同士が顔見知りになった」「地域で気軽に相談できる関係が生まれた」「あいさつを交わせる関係が増えた」など、多くのつながりが生まれています。地域での居場所の取り組みを始めるきっかけづくりを目的とした助成もありますので、詳しくはご相談ください。

「助成の手引き」、「令和7年度事業報告・決算」、「令和8年度事業計画・予算」について、北区社会福祉協議会ホームページ（ダウンロード）に掲載しておりますので、どうぞご覧ください。



賛助会員のご紹介

● 植木食品工業株式会社

食を通じて地域を支える、創業79年の確かな技

昭和22年創業。米を主原料とした食品製造を行う老舗企業で、笹団子の粉や切り餅、落雁の原料などを製造し、問屋への卸売を中心に事業を展開しています。

地域とのつながりとしては、「老人憩いの家阿賀浜荘」の駐車場として土日に地域へ開放するなど、日頃から地域に寄り添った取り組みを続けています。また、SDGsの観点から、賞味期限が近い製品を社会福祉協議会へ寄附してくださるなど、食品ロス削減にも積極的に取り組まれています。

賛助会員として10年以上支援を続けてくださっている理由について伺うと、「社会貢献として当たり前のことをしているだけです」と穏やかに語られました。賛助会員会費だけでなく、毎年赤い羽根共同募金にも協力されており、地域の福祉を支える姿勢が企業文化として根づいていることが伝わってきました。



● アイビス技建株式会社

インフラを支える誇りが、世代をつなぐ

産業廃棄物の運搬・処理・リサイクルを中心に、地域のインフラ維持や環境整備を担う企業です。産業資源循環事業、一般廃棄物処理事業、建物総合管理事業、上下水道管管理事業など、多岐にわたる事業を通じて、新潟市民の暮らしを支えています。

地域活動にも積極的で、建設業協会を通じた福島潟のクリーン作戦への参加や、青年会議所・ライオンズクラブのネットワークを活かした地域貢献にも取り組んでいます。「地域で経済活動を行い、地域の方を採用し、その生活を守ることも大切な地域貢献」と語る姿が印象的でした。

さらに同社の大きな魅力は、**理念を理解し、誇りをもって働く従業員の存在**です。

決して目立つ仕事ばかりではなく、時に厳しい現場もありますが、地域の暮らしを支える重要な仕事に真摯に向き合ってきた歴史があります。その背中を見て育ち、親子2代・3代にわたり働く従業員が多いことは、同社が長年にわたり築いてきた信頼の証でもあります。

「親が誇りをもって働く姿を見て、自分もこの世界に入った」という世代が多い企業は、地域でも貴重な存在です。

北区社協とは、災害ボランティアセンターの運営などを通じて長く協働してきました。「目に見えないけれど、絶対にはならない存在」と社協を評価してくださり、10年以上にわたり賛助会員として支援を続けてくださっています。



アイビス、ibis、とは“とき”のことです。

福祉教育 ともに生きる力

ひとりひとりの「**ふ**だんの**く**らしの**あ**わせ」をめざして、福祉教育を通じて誰もがしあわせにくらせるまちになるように、福祉を自分ごとにするきっかけづくりのお手伝いをしています。

学校だけではなく、自治会・町内会、企業等へも伺っていますので、お気軽にご相談ください。

関心をもつ

地域で生活する人の
思いや生活を知る

やさしい気持ちの循環

できることを
行動する

自分・学校・地域が
できることを考える

木崎小学校
4年生テーマ

やさしい木崎のまちづくり

新潟市ろうあ協会の方々からの手話講話。こどもたちには、相手の立場を考えて、おもいやりの心をもって生活することや、もし困っている人がいたら自分にはどんなことができるのかなどを考えてもらいました。



こんなメニューがあります

- ・高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉
- ・地域福祉
- ・認知症サポーター養成講座（認知症への理解）
- ・防災講座
- ・地域の支え合いのしくみづくり
- ・ボランティア

作業療法士による認知症カフェ

らく～なカフェ

らく～なカフェは、認知症の人やそのご家族、地域の方々がお茶やコーヒーを飲みながら気軽に交流し、悩みごとなどの情報交換を行うことができる場です。

また、新潟医療福祉大学教員の作業療法士や学生とお話することもできます。ぜひお気軽にお問い合わせください。



【開催予定】

- ・8月28日（金） 認知症サポーター養成講座
会場：ラゲナススクエア（旧中常楼）
新潟市北区葛塚3222
時間：14：00～15：30
- ・11月26日（木） 内容・会場未定
- ・2月26日（金） 内容・会場未定

申し込み・問い合わせ先

北区社会福祉協議会 TEL：025-386-2778

地域の茶の間 ととくし丸

～茶の間と移動スーパーの連携で広がる地域の輪～

地域の茶の間「十二さくら会」では、移動スーパー「とくし丸」が定期的に訪れ、地域のみなさまの買い物を支援しています。

十二さくら会担当の倉島さんは、「免許を返納して買い物に困っている方や、家族に頼って買い物をしている方の助けになればと思い申し込みました。地域のみなさまにも案内することで、利用の輪が広がると感じました。」と話します。7月で利用開始から1

周年を迎え、今ではすっかり地域に定着し、多くの方が訪問日を楽しみにしているそうです。

移動スーパーは、買い物の利便性向上だけでなく、地域の交流の場としても親しまれています。今後さらに多くの方々に利用が広がることが期待されます。

買い物等にお困りの方がおられましたら、北区社会福祉協議会へご相談ください。



利用者からも
喜びの声が
寄せられています。

広い店内を歩き
回る必要がなく、商品
がコンパクトに並んで
いるので選び
やすいです！

今日は
茶の間の日。
お昼に食べるちらし
寿司を買いのを楽し
みに来ました！

普段は娘に
買い物を頼んでいま
すが、月に1回の茶の
間の日には、ここで買
い物をするのを楽し
みにしています！